

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

アクリル酸 n-ブチルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

1999-生12

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： アクリル酸 n-ブチル
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 10, 5.6, 3.2, 1.8, および1.0 mg/L
- 6) 試験液量： 3 L/容器 (密閉容器)
- 7) 連数： 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10尾/濃度区
- 9) 試験温度： 24±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： HPLC法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して±20%を超える分析結果があったため、以下の値は測定濃度の幾何平均値を基に示した。
- 2) 96時間の半数致死濃度 (LC50) : 2.42 mg/L